

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆいまーるあくあ		公表日 2025年 2月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	長テーブルを活用してコーナーを作る等の工夫をし、安全に活動できるスペースを確保しています。	利用者様も日々成長している為、スペースが狭く感じる事があるので、活動スペースの構造化を図り、利用者様が安心して過ごせる環境作りに努めています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用定員に対して職員の配置をしています。	利用定員や職員配置基準に沿って実施していますが、外出イベント時等は職員の人数を増やし、安全に活動できるよう努めています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	建物上完全なバリアフリー化は難しいですが、段差等の危険な場所は介助を配置して対応しています。	バリアフリー化されていない箇所には視覚的にわかるように提示し、安全な環境作りに努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	来所前には生活空間の環境整備を行い、利用後は清掃とアルコール消毒を行っています。	今後も感染予防対策を行いながら、利用者様が心地よく過ごせる生活空間を確保していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	通常過ごす部屋とは別に使用できる部屋があり、必要な場合には使用出来るようになっています。	必要に応じて個別の部屋に移動してもらい安心して過ごせる環境を提供していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	子供たちが笑顔で過ごせるように業務を円滑に進めるための目標設定を行い、毎日のミーティング時に確認を行い、振り返りを実施しています。	全職員が揃って話し合いや検討会を開催することが難しいため記録に残し全職員への周知を行っていますが、今後は全職員が参加できるような工夫していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者向けのアンケート結果から検討を行い業務改善につなげています。	年1回のアンケートだけでなく日常的に意向や意見を聞く機会を作り業務改善に繋げていけるようにします。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員の意見を聞き改善・検討できることを行っています。	職員の意見をまとめ、その都度話し合いを行いながら、業務改善に努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	第三者による外部評価は現在実施していません。	現在、第三者による外部評価は実施していませんが、実施後は、改善部分がある場合は迅速に対応していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	定期的に社内研修を実施しています。外部の講師を迎え、研修する機会が確保されており職員の資質向上が図れています。	施設内での決まった研修以外も進んで受講するよう意識を高めていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	事業所内の支援プログラムを職員で共有し、支援を行っています。但し、会社全体の支援プログラムは現在作成中と聞いています。	支援プログラムが公表された際は、職員周知と研修を行い適切に実施していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	定期的にあセスメントを行い個々の取り巻く環境、家庭、学校、デイでの様子を客観的に分析し、計画書を作成しています。	今後も個々の状況を把握し、利用者様が到達目標に近づくよう全職員で努めています。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	支援会議や日々のミーティング時に子どもの状況を確認し、職員間で情報共有をしながら、共通理解のもと支援が実施できるような計画書の検討を行っています。	今後も職員が共通理解をし、利用者様が安心して過ごせる中で楽しく過ごしながら成長出来るよう努めます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	支援会議やアセスメントを継続して行い、個々に合った計画書を作成し計画に沿った支援を行っています。	今後も支援会議や話し合いの場を大切に計画に沿った支援を行っていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	標準化されたツールなどは誰が見てもわかるように提示しており、個別に必要な場合の支援カード等についても使用する事で行動が対応できているか確認出来ています。	引き続き利用者様が安心して過ごせるよう工夫していきます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	放課後等デイサービスガイドラインに沿って支援の方向性を考え「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の必要な項目ごとに個々の発達段階に応じて具体的な支援内容を設定しています。	利用者様一人ひとりに沿ったサービス計画を作成していきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	年間を通して月々の活動プログラム（月間スケジュール）を作成するときにチームで話し合い、検討して立案しています。	今後も職員が共通理解のもと利用者様に楽しんでもらえるよう工夫していきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	季節の行事や子どもの流行り・興味のある活動を取り入れ楽しんだり達成感を持ってたりする活動を検討しています。平日は短時間で出来る事、休日・長期休暇でじっくり時間をかけて出来る事を取り入れています。	季節を感じられるイベントや音楽・運動・創作・食育など利用者様と一緒に楽しめる活動を行っていきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個々の発達段階に応じて個別の課題、社会的な課題を職員間で共有し、計画書を作成し支援を行っています。	利用者様一人ひとりに沿ったサービス計画を作成し支援を行っていきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援前に必ずミーティングを行い、支援内容と役割分担を確認し連携して支援を行っています。	日々のミーティングで共通理解し支援を行うように努めていきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	支援後に必ずミーティングを実施、振り返りを行い、気付いた点等を話し合い共有しています。記録も残しその日の勤務以外の職員にも伝達しています。	今後も日々のミーティングの時間を大切に、問題点があった時には改善点を話し合い、次回の支援に繋げていけるよう努めていきます。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	個別の記録を残し、その日のミーティングで振り返りの話し合いを行い今後の支援についての改善について話し合いをしています。	記録は徹底して行い、今後の支援に生かしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	6ヶ月に1度は必ずモニタリングを行い、支援会議を開催し今後の支援内容について話し合いを行ったうえで計画の見直しが必要か判断しています。	個々の利用者様の状況を把握し、利用者様に合ったサービス計画の立案を行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9	0	放課後等デイサービスガイドラインに沿って、基本活動を複数組み合わせさせて支援を実施しています。	今後も放課後等デイサービスのガイドラインに沿った支援を提供していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	日々のイベント内容の中に組み込み、自己選択、自己決定が出来る支援を実施しています。	今後も自己選択、自己決定できる場を提供していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	サービス担当者会議やケース会議等に参加する前には職員間での話し合いをし、状況把握できた職員が参加しています。	今後も児童発達管理責任者または利用者様の様子が分かる職員が参加し、情報交換を行っていきます。
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	各関係機関と連携し支援を行っています。必要な場合には関係機関連携会議等を開催する体制を整えています。	地域の保険や医療機関等に関しては保護者を通じて間接的な支援になってはいますが、連携強化に努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校と連携をとり情報共有を行い、送迎時間の確認や行事予定等の確認を行っています。	月の送迎時間予定表を保護者の承諾を得て直接学校に渡すなどして学校との情報交換を行っています。今後も連携を行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	直接ではないですが、相談事業所や保護者を通じて利用時の状況や必要なツール等の情報提供を受けています。	相談員さんが主催する担当者会議・引継ぎ会が主となっているので、今後は事業所発信で情報交換会議の開催を検討していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	事業所からの要望があれば保護者様の承諾を得て情報提供を行っています。	事業所からの要望があれば保護者様の承諾を得て情報提供できるよう検討します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	現在は行っていません。	現在は行っていませんが、児童発達支援センターとの連携やスーパーバイズからの助言や研修を受ける機会を作っていくようにします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	交流機会、活動する機会は現在はありません。	環境を整え機会があれば、検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	定期的に他事業所や相談事業所との連絡協議会に参加し、情報交換や共有をしています。	今後も他事業所等との連絡を積極的に取り合い情報交換や情報共有をしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	日常的に状況を伝え合っています。（送迎時等）担当者会やケース会等で発達状況についても伝えており共通理解できています。	必要な場合には電話にて連絡を取り合い、共通理解をしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	職員研修では取り入れていますが、保護者様参加の研修は行っていません。保護者様より相談があった時には話す機会を設けています。	個々に相談があった場合は実施していますが、今後、保護者様から希望が多く出た時には検討し進めていきます。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時や加算等の変更があった場合、計画書の支援内容説明時に丁寧に説明を行っています。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	計画書を作成する時には意向確認を行い、相談事業所の計画書に沿って作成しています。サービス担当者会や保護者と面談する機会に確認しています。	今後も保護者様、相談員さんとの連携を行いサービス計画の作成していきます。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	直接会って説明を行ったり電話等で説明をしたりして同意を得ています。	今後も個々の計画書の内容についての説明を行い同意を得て実施していきます。
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	家族からの相談があった場合には事業所での面談や家庭訪問等で対応し必要な助言と支援を行っています。	保護者様からの相談等に対して適切な助言や方法をお伝えできるよう職員の高質向上に努めていきます。
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	保護者会等の保護者同士の交流機会は設けておらず、きょうだい向けのイベントも開催していない状況です。個別の家族支援は行っています。	個々に相談があった場合は実施していますが、今後、保護者様から希望が多く出た時には検討し進めていきます。
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	放課後等デイサービスの契約書の中に苦情についての説明を入れ周知しています。苦情があった場合には対応の体制を整え迅速かつ適切に対応しています。	職員の意識を高め安心してお客様に通所してもらえる事業所を目指します。
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	SNSを利用し活動の様子等を発信しています。イベント表やスケジュールの予定表を定期的に作成し発信しています。	今後もSNSを活用し利用者様の活動の様子を発信していきます。
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	SNS発信においては保護者様に確認し承諾書を頂いている。職員は誓約書にて個人情報の取り扱いについては留意し職務に当たっています。	個人情報の取り扱いについては今後も徹底していきます。
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	個々の状態に応じて配慮しています。情報が伝わっているか、理解ができているかの確認もしています。	今後も個々に応じてわかりやすい伝え方を見つけ連携を図っていきます。
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	保護者の了承と地域住民への理解と説明がまだできていないため実施していません。	地域に開かれた事業運営のための準備を整えてから始めていきます。
46		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各マニュアルを作成し、社内研修を定期的に行い、共有しています。	保護者への周知や説明は不足しているため、SNSやHPを活用し発信していきます。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害時の備蓄も置き、定期的な避難訓練を実施しています。	職員の意識を高めるため研修や実践の内容の見直し等を行い、非常時の対応が迅速に行えるよう体制を整えていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	服薬状況、てんかん発作等の状況については事前に把握し確認しています。	今後も保護者様と連絡をこまめに行い、適切な対応に心掛けていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	食物アレルギーについては契約時のアセスメント時に把握し、後発したアレルギーに関しても保護者から連絡をもらい事業所で職員に周知しています。	料理イベントやおやつ提供時は、原材料を毎回確認し、事故がないよう努めています。今後も継続して実施していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全管理マニュアル・事故や災害が発生した時のマニュアル等を作成し、研修や日々のミーティングにて職員共有している。また日々送迎車点検や定期的にドライブレコーダーの確認を行っている。	全職員が安全管理の意識を高く持つよう職員研修の内容を工夫していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	ご家族様への周知は十分出来ていません。	保護者様への周知が不十分な部分があるため、今後はSNSやHPを活用し、発信していきます。また送迎時等でも発信していける体制を作っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットの記録を残し、全職員で共有し、再発防止の対策について話し合い改善策を検討しています。	引き続き情報共有し事故のない事業所を目指します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的に虐待防止の研修を行っています。	施設内研修や外部研修を参加を行いながら、虐待防止の意識を高めていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	現在該当する利用者様はいません。	やむを得ず身体拘束を行わないといけない場合は、保護者様と十分話し合いを行っていきます。